

一般社団法人

手話エンターテインメント発信団

oi oi

無関心 俺たちの 手で変えてやる

エンタメの力で
社会を変える

楽しいことはやりたくなる
楽しいことは知りたくなる
楽しいことは広めたくなる



おいおい TIMES

2026年6月23日(火)

アニメーションで学ぶ難聴理解

難聴者のきこえかたなんなん？ & 困りごとなんなん？

令和8年度「学習デジタル教材コンクール」

〇文部科学大臣賞〇受賞



学校教育で活用できる、優れたデジタル教材や授業実践を表彰する「学習デジタル教材コンクール」。

教材の面白さだけでなく、子どもたちの学びにつながるか、教育現場で活用できるか、他の先生方にも広げられるかなどが評価されます。

「難聴者の困りごと、なんなん？」は、応募作品の中でも特に優れた教材として評価され、最高賞である文部科学大臣賞を受賞しました。「難聴者について知る」だけで終わらず、子どもたち自身が気づき、考え、行動につなげる教材として教育的な価値を認めていただいた受賞です。

このたびの受賞を励みに、今後も難聴理解の学びをより多くの学校・地域へ広げていきます。



教材についての詳細はコチラ

今月 BARRIER CRASHを届けた人数

(延べ人数)

2,560名



精華町ふれあいまつり@京都



手話クラブくるり@大阪



なかつ手話クラブ@大阪

▼NPO法人LePont さんのnoteにて
インタビュー記事が掲載されました。
画像クリックでお読みいただけます。



バリアクラッシュは止まらない



今月のピックアップイベントは次のページから▼

関西大学 人権問題講演会



2026年6月15日(月)



90分



対象：事務職員

プログラム

1. オープニング
2. 表現ワークショップ
3. 聴覚障害者の困りごと：主に学校生活での困りごと
4. 手話ワークショップ：日常生活で使える手話表現
5. クロージング



👉 今回はリアルとオンラインのハイブリット形式で実施。オンライン参加の方へのリアクションも忘れません。



担当者の声

当初は「手話学習の一步」として考えていましたが、実際に受講してみると手話だけにとどまらず、人と人とのコミュニケーションを学ぶ時間であることを強く感じました。また、oioi様の登場や楽しく体験しながら学ぶ進行は、いわゆる講演会を想像していた受講者にとって大きな驚きだったようです。

「手話だけでなく、聴覚障害者の困りごとを初めて知ることができた」「受講できてよかった」など、これまでの研修の中でも非常に高い評価であり、管理職からもコミュニケーション研修として再登壇を希望する声がありました。手話への固定観念を変え、相手を理解しようとする姿勢につながる、大変意義のある研修だったと感じています。

大阪府立学校養護教諭研究会 総会・講演会



2026年6月17日(水) ⌚ 90分



対象：大阪府内の養護教諭

<プログラム>

1. オープニング
2. 聴覚障害者について
 - (1) 難聴者のきこえ方について
 - (2) 難聴者とのコミュニケーション方法
 - (3) みなさんをお願いしたいこと
3. 手話ワークショップ
 - (1) ジェスチャーゲーム
 - (2) 感情表現トレーニング
 - (3) 手話体操
4. クロージング



<参加者の声>

楽しく聴覚障がいのが学べ
とてもためになる講演でした。
生徒にも講演してもらいたい！

聴覚障害の方の話を聞くことで
「そういう風に感じているんだ、
そういう風に声をかけたらいいんだ」
と気づけた。

今まで体験したことのない時間を
過ごさせていただき感動した。
インクルーシブな世界を
広げるため、あらゆる場面で
今日の経験を活かしていきたい。

学校向け啓発事業

6月は10校の小学校・中学校にて 約**2,000**名の
児童・生徒のみなさんに手話や聴覚障害についてお伝えしました。

5日(金)松原市立松原第三中学校



大阪

6日(土)伊丹市立有岡小学校



兵庫

8日(月)大阪市内十三小学校



大阪

8日(月)松原市立松原第七中学校



大阪

13日(土)豊中市立南桜塚小学校



大阪

16日(火)南丹市立八木西小学校



京都

18日(木)早島町立早島中学校



岡山

19日(金)立命館中学校



京都

22日(月)橿原市立畝傍南小学校



奈良

25日(木)松原市立恵我南小学校



大阪

児童の感想



<立命館中学校の生徒さんの感想>

- 話を聞く前は、手話のことを難しく思っていて、あまり興味を持っていなかったけど話を聞いてパフォーマンスを見た後は、手話は思ったより難しくなく、楽しく学べたし今までより興味を持てた。
- “聞こえにくい”ということを話した時に驚かれるのが嫌だと言っていて、「確かに耳は聞こえにくくても1人の人間ということは変わらない」と思った。

日本教育会 奈良県支部研修会



2026年6月23日(火)



対象：奈良県内の幼稚園・小学校・中学校・高校の校長先生

「難聴者の困りごとなんなん？」の映像教材普及活動の一環として、日本教育会奈良県支部研修会にて、映像教材の紹介と映像教材を用いた模擬授業を各学校の校長先生方に体験していただきました。



現状の私たちが考える福祉教育の課題、私たちが映像教材を制作した目的、映像教材の活用方法、今後の展望などについてお話しさせていただきました。



▼模擬授業の一部

ロールプレイ

「難聴者がハンバーガーショップに来た時の対応」

授業は茨木市立耳原小学校（大阪）の金崎先生に教鞭をとっていただきました。みなさん、真剣に考えたり、笑ったり、明るい雰囲気でもとても楽しい授業でした。



今回は大人のみなさまが対象でしたが、これが子供たちだったらどんな気づきやアイデアが出てくるのか？想像するだけでワクワクしてきますね！模擬授業を体験していただいた方々がご自身の学校でも本映像教材を使っていただけることを祈っております。

模擬授業にご協力いただきました金崎先生、大変貴重な機会をいただきました奈良県小中学校長会事務局長の杉岡先生、まことにありがとうございました！！

今月のBARRIER CRASH

学校で広まる手話の楽しさ



2025年、埼玉県で手話ワークショップを開催した時にとある親子が参加してくださりました。
お子さんは当時、小学1年生だったんですが、
そのお母さまから、とても嬉しい近況報告がありました。

なんと！お子さんが今も手話にハマってくださっており、
学校で「**手話係**」という新しい担当を自ら立ち上げ、
手話や指文字を広げる活動をしてくださっているとのこと。

「ダイジョーブ」や「おはよう」などの単語に加え、
自分の名前を手話で表現できることが「すごい！」と
小2 界限ではとても人気があるのことです！

こんな風に私たちと出会ったことをきっかけに
手話にハマってくださり、自分が通っている学校で
手話の楽しさを広めてくれているなんて嬉しいですね。

これぞまさにバリアクラッシュ！ありがとうございました！



**こんな風に少しずつ手話の楽しさが広まっていけば、
手話が当たり前のように存在する社会も
きっとそう遠くないのではないかと信じております！！**



一般社団法人

手話エンターテインメント発信団 **oioi**

所在地
連絡先
役員

大阪府大阪市東淀川区東中島1-19-14 ドムール新大阪204
✉ oioi@oioi-sign.com ☎ 06-6829-6824
代表理事：岡崎 伸彦 理事：中川 綾二 高口 春野